

令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：宇部市をさらに魅力的なまちにするために

【日 時】 令和3年11月10日（水） 17時00分 ～ 18時00分
【出席者】 ○篠崎市長 ○（参加者6名） 宇部フロンティア大学附属香川高校 パソコン部2年：松本 莉奈 パソコン部2年：吉松 千夏 パソコン部2年：村上 貴紀 パソコン部1年：藤井 真由 パソコン部1年：香田 緒水 パソコン部1年：山田 莉緒 ○市民環境部次長 ○市民活動課 地域・保健福祉支援チーム ○事務局（広報広聴課）
【概要】 1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 開催目的説明 5 意見交換・懇談 6 閉会
【意見交換・懇談】
○地域課題を解決するためのパソコン部の活動について 【パソコン部】 ・YIC 学院が運営する UFOC (Ube Free Open Club) に参加している。UFOC では、15歳から20代前半の若者を対象とし、学校の枠を超えて誰でも参加できるコミュニティの場を創出している。参加者が活動内容を企画し、シーズンごとにeスポーツなどのイベントを行っている。 ・様々なeスポーツのイベントに参加し、テレビゲームを通じて高齢者の健康と交流を応援する「健康ゲーム指導士」の養成講座を受講した。eスポーツを通して、今の時代に合ったコミュニケーションの方法を考えたい。 ・パソコン部の卒業生等と連携して、宇部市を盛り上げるためのオリジナルソングとミュージックビデオを作成している。市でミュージックビデオを購入して、市のPRに活用してほしい。

【市長】

- ・eスポーツは、障害の有無に関わらず楽しめて、いろいろな世代が交流できる。いろいろなところでeスポーツを盛り上げていきたいと考えている。宇部市では様々なイベントを開催しているので、これらのイベントに参加するとともに、新たなイベント等も提案してほしい。
- ・オリジナルミュージックビデオが完成したら、ぜひ見せてほしい。

○藤山地区における地域貢献事業の提案について

【パソコン部】

- ・パソコン部では、ITの活用スキルだけでなく、プログラミング・イラスト制作・イベント活動などのスキルがある。このスキルを使って、宇部市をもっと魅力あるまちにするために、藤山地区の地域課題を見つけて、その解決に貢献していきたい。地域計画の見直し時期に合わせて、積極的に地域貢献事業を提案していきたい。
- ・スリッパ卓球・風船バレーなどの「手ぶらでも参加しやすいスポーツ大会の実施」や「高血圧対策に良い料理の開発・作り方の動画等の配信」、「定期的な健康測定会の実施」を提案したい。宇部フロンティア大学附属香川高校で健康測定会を開催し、市の保健師と連携して健康測定データや改善点等を参加者に話したい。
- ・「ウォーキング30分活動」を提案したい。藤山地区を散策しながら交流することで、改めて地区の魅力に気づくことができると思う。また、危険個所の確認、ゴミ拾い、ハザードマップを活用した避難経路の確認も行い、地域に貢献しながら運動もできる企画にしたい。
- ・小中学生を対象に、楽しく虫歯予防を意識できる「虫歯予防ゲームの開発」や「歯磨きを促進するオリジナルポスター・動画等の作成」を提案したい。また、調査で緑茶は虫歯予防に効果があることが分かったので、「小野茶を活用した虫歯予防イベントの実施」も考えている。

【市長】

- ・高血圧対策に良い料理は、市でも「へら塩レシピ」を作成しているが、作り方を動画にするという取り組みは今までなかったと思う。ぜひパソコン部の皆さんの力をお借りしたい。
- ・ハザードマップを活用したウォーキングは、健康づくり・防災など様々な地域課題の解決につながる。市としても参考にしたい。
- ・虫歯予防について、子どもたちが興味を持つアプリ等を活用するのは良いと思う。ぜひ地域に紹介してほしい。
- ・イベント等で小野茶を活用してほしい。カフェインアレルギー等の配慮もお願いしたい。

○宇部市はつらつ健康ポイントの普及について

【パソコン部】

- ・健幸アンバサダーになって、健康イベント、SNS 等での発信に協力したい。
- ・はつらつ健康ポイント普及のために、健康ポイント測定器を宇部フロンティア大学附属香川高校に設置してほしい。

【市長】

- ・健幸アンバサダーになるためには、健幸アンバサダー養成講座を受ける必要がある。現在は平日しか受講できないが、今回の提案を受けて、来年度は土日も受講できるようにしたい。ぜひ高校生にも健康アンバサダーになってほしい。
- ・健康ポイント測定器は、市民が誰でも利用できる場所に設置しており、関係者以外が入れない学校内への測定器設置は難しい。宇部フロンティア大学附属香川高校の近くのローソンには、健康ポイント測定器が設置してある。ただし、健康ポイント測定器の利用は、運動機会が少ない20歳以上の方を対象にしている。高校生の皆さんには、はつらつ健康ポイント制度をぜひ年上の方に広めてほしい。

【市長】

- ・今後、中心市街地の活性化・にぎわい創出のために、常盤通りの歩道などの整備を進め、若者が集える場所の創出と魅力あるまちづくりを進めていく。また、それらには、音楽や芸術、文化も活かしていきたいと考えている。
- ・若者の皆さんには、中心市街地のイベントに参加していただくとともに、まちづくりに関する提案を遠慮なくいただきたい。